

## ■概要

横須賀市立市民活動サポートセンターは2020年度、市民の公益活動の場を提供し、横須賀市及び周辺の市民活動支援を行った。

コロナ禍の中、施設の運営は新しい生活様式にのっとり、必要な制限を行いながら、安心して施設を利用してもらえるよう工夫をしながら行った。また、市民活動支援の企画は中止を余儀なくされたものもあったが、オンラインツールを取り入れながら支援の提供を行った。

## ■事業報告

横須賀市立市民活動サポートセンターは2020年度、以下の事業を実施した。

### 1. 公益活動に資する管理運営事業

横須賀市立市民活動サポートセンターの管理運営を行った。新型コロナウイルス感染防止のための各市の方針に従い、臨時休館や時間短縮をはさみながら、感染防止のガイドラインおよびスタッフの対応マニュアルを作成し、安心して施設を利用してもらえる管理運営に努めた。

#### ◆市民活動サポートセンター管理運営事業

今年度は指定管理期間（2017.4～2021.3）の4年目の年度となる。コロナ禍の影響で指定管理の更新は1年延期となり、2021年度に指定管理者の募集が行われることとなった。

##### （1）施設管理業務

4月～6月 緊急事態宣言に対応して臨時休館となったため、ミーティングや印刷などの通常利用はできなくなったが、ロッカー、レターケースの利用や相談業務など、必要な対応を行った。新年度の各種申請についても来館およびメールにて対応した。4月20日（月）よりスタッフ対応時間を短縮した（17時まで）。

7月 施設利用を再開したが、18時までの開館とした。利用人数の制限（通常の50%）やマスクの着用、手指消毒、検温のお願いをしながらの運営となった。できるだけ多くの方に利用してもらえるよう、利用時間の制限も行った（最長3時間）。

8月～ 22時までの通常運営に復旧。予約などの利用制限については7月と同様。

10月～ ミーティングの予約団体を1団体から2団体に増やした。館全体の利用人数を従来の50%にするという市の方針に従い、レイアウト変更をすることで全体の人数のコントロールを行った。

1月～3月 緊急事態宣言の発出を受けて、1月12日（火）より3月7日（日）まで臨時休館となり、通常利用はできなかったが、ロッカーやレターケースの使用、相談業務、各種申請に対応するためスタッフは18時まで常駐して対応した。

3月8日（月）より20時までの短縮運営で開館。その後、3月22日（月）より22時までの通常運営となった。

手指消毒、体温測定、マスク着用、予約及び人数制限について、引き続き協力をお願いしながらの運営となった。スタッフは、利用団体の連絡先の把握（連絡票の記入依頼）、定期的な館内消毒を行っている。

## <利用者数推移>

4～6月	休館	(561名)
7月	1,536名	(前年度比 37.6%)
8月	1,625名	(前年度比 37.3%)
9月	2,566名	(前年度比 58.2%)
10月	2,404名	(前年度比 62.6%)
11月	2,046名	(前年度比 48.2%)
12月	1,639名	(前年度比 46.4%)
1月	441名	(1月12日(月)より休館 前年度比 12%)
2月	183名	(休館 前年度比 5%)
3月	1,525名	(3月7日(日)まで休館 前年度比 256% ※昨年3月は4日(水)より臨時休館)
合計	14,526名	(前年度比 30.95%)

## (2) 情報収集提供業務

### ①2020年度広報実績

ア. 活動団体のチラシ等の配架

イ. みんなの掲示板、何でもインフォメーションへのポスター掲出

ウ. 活動紹介コーナーの展示団体コーディネート

(センターエリア、フロントエリアの2か所)

エ. ラジオ出演団体コーディネート (FMブルー湘南)

オ. ネット情報配信 毎月5日 (メールマガジン「のたろんメール」)

カ. のたろん通信 (毎月 A4 表裏)、情報誌のたろん (年4回4ページ) の発行

キ. ボランティア情報冊子の発行

ク. SNSでの情報発信 (FB、Twitter、YouTube)

※今年度改修する予定だった横須賀市立市民活動サポートセンターのHP (のたろんWEB)

は、SSL化の予算について横須賀市と調整中のため、来年度に持ち越しとなった。制作作業は進んでいる。

### ②新型コロナウイルスに影響を受けた市民活動団体アンケートの実施

3月からの臨時休館と活動自粛要請に伴うサポートセンター登録団体への影響を調査した。

アンケートのお願い郵送数：696件

回答件数：160通 (内訳：インターネットから75件、郵送やFAXなど85件)

のたろんWEBで結果を公表。

### ③利用者アンケートの実施

利用票の裏面の「利用者の声」欄にて利用者のご意見、ご要望を収集。ご要望については、指定管理者からの回答をセンターのHPに掲載するとともに館内に掲示している。

4月～6月 休館中のため、アンケート回収なし。

7月 ご意見 3件 ご要望 1件

8月 ご意見 7件 ご要望 2件

9月 ご意見 7件 ご要望 1件

10月 ご意見 7件 ご要望 1件

11月 ご意見 6件 ご要望 2件

12月 ご意見 3件 ご要望 2件

- 1月 ご意見 1件 ご要望 0件
- 2月 休館中のためアンケート回収なし。
- 3月 ご意見 9件 ご要望 3件

### (3) 相談業務

#### ①上級、専門的な相談

- ア. 法人立ち上げについての相談
- イ. 市の各課からの相談
- ウ. 県大教授からの支援依頼の相談 等

#### ②各種相談会の開催

登録団体の協力を得て、様々な分野の相談会を開催した。(それぞれ月1回)

- ア. まちの保健室 (よこすかまちの保健室プロジェクト)
- イ. 介護相談会 (神奈川県介護福祉士会 三浦横須賀支部)
- ウ. いまさら相談室 (認定NPO法人産業クラスター研究会)
- エ. 横須賀知恵袋 (土業集団 横須賀知恵袋)

### (4) 連絡調整業務

(主たる連絡調整先)

- ①横須賀市役所 各部署
- ②中間支援組織生涯学習センター、ボランティアセンター、シルバー人材センター)
- ③支え合い協議会第一層会議体
- ④県立保健福祉大学地域貢献連絡会
- ⑤よこすか人社プロジェクト
- ⑥商工会議所、産業振興財団
- ⑦商店街(ダウントウンクラブ、本町商店会など)
- ⑧よこすか子育て応援ネットワーク、よこすか三浦子ども食堂・地域食堂ネットワーク
- ⑨三浦半島のNPO支援施設(逗子市交流センター)
- ⑩災害時の三者連携を推進する地域勉強会

## 2.公益活動に資する支援事業

2014年から毎年開催している神奈川県との共催事業「企業・NPO・大学パートナーシップミーティング」、横須賀市との共催事業「生涯現役フォーラム」はコロナ禍で中止となった。また、事業を開始する予定だった「三浦半島ユースサポータープログラム」は、県立保健福祉大学への説明、協力依頼は行ったものの、大学生の地域でのボランティア活動が制限されたため実施には至っていない。計画していた「防災」をキーワードにした団体交流会もコロナ禍で実施できなかった。

### 1) ボランティア・市民活動人材育成事業

2020年度はコロナウィルス感染予防対策のために高齢者への働きかけができず、ユースを中心に、市民活動を支える人材を育成する事業を行った。

#### (1) 学生ボランティア受け入れ

【内容】単位取得を目的とした学生ボランティアの問い合わせが多く、昨年度高校と連携した

ボランティア受け入れの枠組みを整備した。35時間のボランティアを体験し、1単位取得となる。現在は主に三浦初声高校の学生対象。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】6名受け入れ

## (2) ぼびーぐみ活動支援

【内容】汐入駅周辺と横須賀中央駅周辺での清掃活動、定例会の開催

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター及び市内各処

【成果】毎月1度の活動。状況によりサポートセンターでの開催またはオンライン開催。

## (3) 県立保健福祉大学 ボランティア市民活動論授業コーディネート

【内容】春の非常事態宣言に伴い県立保健福祉大学もオンライン授業となった。例年「ボランティア市民活動論」の授業には当センターが担当する枠が2日あり、中間支援組織の紹介と市民活動団体の紹介を行っているが、今年度はこの授業の全てのコーディネートを依頼され、関係団体のアレンジなどを行った。

コロナ禍で今できる活動を学生自身が考え行動できるように、また、終息後すぐに活動に活かせるようにボランティア・市民活動の理解を深める内容を提供した。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンターよりオンライン

【成果】5月～8月の全11回の講義のうち6回をコーディネート。履修学生124名。

先輩学生にも出演してもらい、身近な活動の紹介ができた。ボランティアの中間支援施設として、田浦基督教社会館、横須賀YMCA、三浦YMCAの紹介も行った。

## 2) 市民活動の「場」の創出

コロナ禍でも活動している団体の支援として、活動の場の提供を行った。

### ◆のたろんフェア 2021 月間の開催

【内容】9月に実行委員会を立ち上げ、のたろんフェアの開催について検討。コロナ禍で感染防止対策を講じながら開催できる方法を模索したが、イベントとしての開催を断念。オンラインとポスター展示により密を避けた方法での開催とした。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター 及び オンライン

【成果】2月1日(火)から2月28日(月)をのたろんフェア2021月間として、団体の活動紹介動画をYouTube配信し、活動紹介ポスターを外通路に向けて掲示した。 動画配信：40動画 ポスター掲示：41団体

## 3) 市民活動団体支援、ボランティア支援活動(基盤強化、活動促進)

市民公益活動団体に向けた学習やスキルアップの機会の提供を行った。また、団体交流の機会やセンターの利用の促進をすることで団体の活動の活性化に資する活動を行った。

### (1) 各種セミナー、学習会の開催

#### ①オンラインスキルアップ講習会

【内容】オンライン会議ツールZoomの講習会

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】3回 14名参加

#### ②団体活動支援セミナー

【内容】「非営利団体って何だ？」をテーマとしたセミナー

講師：特定行政書士 岩堀達也氏 横須賀三浦地域活性化グループ LEAP

【日時】2020年12月5日（土）14：30～16：30

【場所】産業交流プラザ

【成果】16名参加

#### （2）よこすか人社プロジェクト支援

【内容】横須賀の2040年を考える会が市民協働推進事業として取り組んでいる「よこすか人社プロジェクト」への支援として、定例会への参加、イベント開催支援を行っている。月に一度開催される「社の人イベント」のサテライトビューイングをサポートセンター多目的ルームにて開催。

【場所】市民活動サポートセンター

【成果】サテライトビューイング9回開催

(7/18, 8/8, 9/12, 10/10, 11/14, 12/12, 1/16, 2/13, 3/6)

#### 4) 地域連携による地域課題、社会課題への対応

地域における様々な課題に対して、団体や企業、教育機関等と連携して解決に向けて取り組んだ。

#### （1）新型コロナウイルス関連支援プロジェクト実行委員会

【内容】コロナ禍で課題を抱えた子育て世帯を支援する枠組みを横須賀の子育ち応援ネットワークが母体となり構築。支援のための実行委員会を立ち上げ、事務局を担っている。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター 及び スズキヤ横須賀店

【成果】①買い物代行プロジェクト：感染者のいる子どもを抱えた世帯が買い物できなくて困っている場合に、買い物を代行する企画。(株)スズキヤの協力を得、買い物ボランティアと配送ボランティアとに役割分担をして安全に買い物代行をする。保健所から対象世帯へプロジェクトの周知を行ってもらい、必要な世帯から事務局へ申し込み支援を行う仕組みを整えた。

買い物ボランティア登録 9名、配送ボランティア登録 3名。

2021年3月現在実働なし。

②お弁当プロジェクト：コロナ感染症への対応の影響で給食のない時期に、ひとり親世帯等にお弁当を届けるプログラム。青年会議所の協力を得、お弁当を各世帯に配達した。

6月8日（月）～6月19日（金）（平日10日間）3世帯に62個配達

8月3日（月）～8月28日（金）（平日19日間）18世帯に293個配達

③フードパントリー：お弁当プロジェクトに寄せられた寄付を原資に、(株)スズキヤの協力を得、お弁当を届けた世帯に食材を配送した。

9月4日（土）18世帯に配送

#### （2）横須賀子育て応援ネットワーク

【内容】横須賀市内で活動する子育て支援の団体のネットワーク。当法人が事務局を務めている。現在32団体と個人が登録している。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】①メーリングリストによる情報交換、共有

助成金情報や各団体及び関係団体のイベント情報など、活動に有益な情報の交換、共有を日常的に行っている。

②子ども未来ファンド 子ども未来セミナーサテライト受講（全3回 10名参加）

子ども未来ファンド主催のセミナー「ウィズコロナと子どもの世界」がオンラインで開催された。オンライン受講の環境のないメンバーに向けて、サテライトビューイングを行い、受講機会を提供した。

③オンライン学習会の開催

コロナ禍で子ども支援の活動をしている団体も活動の自粛を余儀なくされたり、活動内容を制限したりしている中、子どもにとっての遊びの重要性を改めて考える機会をもった。講師は、全国で「みちあそび」を展開している TOKYO PLAY の代表。「子どもの遊ぶ権利のための国際協会」が発行した「子どものくらしに関わる人のためのガイド」を資料に、コロナ禍での子どもへの支援の在り方を学んだ。

日 時：2021年2月23日（火祝）10：00～12：00

テーマ：「遊びを止めるな！～コロナ禍でどうしてた？どうしよう」

講 師：嶋村仁志氏（NPO 法人 TOKYO PLAY 代表）

参加者：ネットワーク登録団体メンバー及び関係者 17名

（3）よこすか三浦子ども食堂・地域食堂ネットワーク

【内容】三浦半島域内で活動する子ども食堂・地域食堂のネットワーク。当法人が事務局を務めている。現在8団体が登録。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】①メーリングリストでの情報共有（助成金情報、食材提供情報）

②コロナ禍での子ども達を心配した市民から子ども食堂への寄付の申し出を多くいただき、ネットワークで受け取り登録団体に配分した。

### 3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

#### 1) 横須賀市立市民活動サポートセンター自主事業

サポートセンターの目的に合致した事業を独自の財源で行った。

##### （1）大型印刷物出力サービス

【内容】大型印刷機でA1や長尺の大きな印刷物の請負印刷を行った。

【成果】48団体利用（収入 70,400円）

##### （2）中ロッカーの設置、一時預かりサービス

【内容】団体の年契約のロッカーと一時預かりのサービスを提供した。

【成果】年貸ロッカー 11団体利用。（収入 39,600円）

一時預かりサービス 13件利用。（収入 7,750円）

##### （3）印刷機設置及びコピー用紙等消耗品販売

【内容】印刷機等を設置して利用者に提供。また、コピー用紙やラミネーターフィルムを販売提供した。

【成果】コピー機 （収入 291,450円）

印刷機 (収入 474,450 円)

用紙等販売 (収入 197,310 円)

#### (4) パソコン講座

【内容】市民活動のために必要なパソコンのスキルアップ講座を提供。情報化支援団体の協力を得てボランティア講師を派遣してもらっている。

【成果】111回 のべ243名受講 (収入 321,650 円)

#### (5) 印刷代行サービス

【内容】センターの休館中、団体が必要な印刷物の印刷の代行を請け負った。

【成果】①4月1日(木)～6月30日(水) 54団体

印刷枚数 126,606枚 製版枚数 575枚 (収入 155,880 円)

②1月12日(水)～3月7日(月) 20団体

印刷枚数 15,767枚 製版枚数 136枚 (収入 34,190 円)

## 2) 法人独自事業

NPO 法人 YMCA コミュニティサポートが、行政から委託を受けて行う事業、補助金・助成金を得て行う事業、および法人の使命に基づき独自に行う事業。

### (1) 委託事業

市民公益活動ポイント制度事業 (横須賀市)

【内容】横須賀市の市民公益活動ポイント制度の事務局を担い、団体申請の受付、管理、ポイント券の発行、寄付の受け渡しなどを行った。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】コロナで中止するイベントが多く、ポイント券を申請しても取り下げる団体が多かった。申請 のべ46団体。辞退 のべ8団体。

### (2) 地域の YMCA と連携し、以下の事業に取り組んだ。

#### ①情報発信

ア. YMCA 掲示板の設置

横須賀市立市民活動サポートセンターにて YMCA 掲示板を設け、情報発信をした。

イ. よこすか子育て応援ネットワークのメーリングリストで YMCA の保育園などで行われた子育てセミナーの情報発信を行った。

ウ. 各拠点の紹介

県立保健福祉大学「ボランティア・市民活動論」オンライン授業で田浦基督教社会館、横須賀 YMCA、三浦 YMCA、横須賀市立市民活動サポートセンター、三浦交流センターの紹介を行った。

#### ②チャリティーラン

チャリティマスクの販売を行った。

#### ③ピンクシャツデー

毎月最終水曜日に勤務しているスタッフがピンクシャツを着ていじめ反対のメッセージを発信した。2月はピンクシャツデー月間として、横須賀市立市民活動サポートセンターで YMCA のメッセージボードへのメッセージを募集し、寄せられたメッセージや写真を館内に掲示した。

④国際・地域協力募金

横須賀市立市民活動サポートセンターの活動紹介コーナーを活用し、国際地域協力募金の活動についてPRしながら募金とパヤオグッズのチャリティ販売を行った。

⑤平和・ユースエンパワメント等

国際地域協力募金の活動紹介の中で、「平和の木」の取組を行い、スタッフや来館者が書いた平和のハトのメッセージを掲出し、平和への思いを新たにしました。

⑥東日本大震災復興支援

ア. オンライン学習会の開催

【内容】被災地の今を知り、防災意識を高める機会とする。

講師：渡辺善明氏（福島県浪江町任期職員。元サポートセンタースタッフ）

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】参加者：21名

イ. 活動紹介展示

【内容】横須賀市立市民活動サポートセンターの登録団体で、被災地支援を継続している団体の活動紹介。サポートセンター内活動紹介コーナーで、ポスター展示を行った。

【場所】横須賀市立市民活動サポートセンター

【成果】紹介団体：11団体

以上